

Hand in Hand

仲間を鼓舞するために



6月11日(金)7校時に行われた『学年壮行会』。各部が大会に臨む決意を発表し、学年委員長のさんが仲間を鼓舞する言葉を述べました。そして最後には、学年委員からエールが送られました。

皆さんは、中総体や発表会はどういう場だと思いますか。

それぞれ何か考えついたと思います。その考えは大切に持っておいていいのですが、私は「自分の成果を発揮する場」だと思います。勝ち負けは、その延長線上にあると思います。

大会に出ることができたのは、今まで練習を頑張って積み重ねてきたからですね。部活動において、自分の思うように上手くプレーできなかったり、周りに追いつかれている気がして苦しくなり、くじけそうでも、部活動に行くのが練習に参加するのが嫌になったことが一瞬でもあった人が少なからずいるのではないのでしょうか。それでも今まで部員・同級生とともに、明日の中総体や来月以降行われる大会などを目標として、練習に参加できていた人が多いと思います。そして、今こうして部員・同級生とともに大会に挑もうとしています。

あくまでも私の主観ですが、これってとてもすごいことだと思います。諦めずに、それぞれが壁を乗り越えて今この時を迎えているのですから。もうそれは皆に見てもらおうか、認めてもらおうかありませんよね。“自分はここまで諦めずに頑張ってきたんだ”と。

皆さんが頑張ってきた力は確かな力です。

明日からの大会では、自分の力を信じて、弱音なんか吐かず最後まで諦めず、今までの成果を存分に発揮し、悔いのないよう挑んでください。そして、これを大前提に勝利をつかみ取ってください。

なお、大会に挑む同級生を、仲間を支えられるのは、皆さん一人一人です。

「頑張ってるね」、「頑張ったね」このような言葉をかけられると、言った本人が思っている以上に、言われた人はとても心強く感じられます。

同じ部活動の人はもちろん、部活動を越えても声をかけてみてください。例えば、明日から始まる中総体ですが、今日の放課後の友だちとの別れ際に「中総体頑張ってるね」と。その一言が相手の心の支えになり、心に変化を与えるものになると思います。

だからこそ、私たち学年委員も、皆さんが安心して力を存分に発揮できることを願い、皆さんにエールを送ります。

学年委員一同、中総体や発表会を良いコンディションで迎えることができることを願うとともに、皆さんが練習の成果を存分に発揮できるよう、全力で応援しています。皆さん頑張ってください。

3学年委員長



最後の市中総体が終わりました。運動部の皆さんは、3年間の集大成を発揮する場にできましたか？仲間と共に力を尽くすことができましたか？

中総体での経験が、これからの自分の力になります。今回得たこと、感じたこと、学んだことを胸に、しっかりと前を向いて歩いていきましょう。



学校で自学の人たちが書いた運動部へのメッセージ